

吉田文書(遺族所見)

吉田文書 2007. 7. 26

別紙

1. 遺児

立派な貴重な御本をおおくりくださりましてまことにありがとうございます。早速亡父の遺影の前においてこれからゆっくと読ませていただきます。

2. 夫人

* 早速仏前にお備えしていろいろとおしゃべりをいたしました。主人も生きておりましたら皆様と同様文書にして文集の中の一頁を埋めたでしょうに。これからは毎朝この文集をお経の後に読み上げようと考えております、きっとどこかで聞いてくれると思います。本当に何よりのお供え有り難うございました。

* 早速仏前にお供えさせていただきました。貴重な御文集を発行なさいますにはさぞ大変なお力の賜物と思い、そのご努力に頭の下がる思いが致します。* 思いもかけぬ御本を有り難うございました。早速に二人の遺影に供えました。

* クラスの皆様方は90近くでいらっしゃるのにしっかりといろいろ昔のことを覚えていらっしゃるって早速主人にみてもらっております、きっと喜んで一気に読んでくれることと思います。

* 今日皆様は心こもる貴重な文集をご恵送下さいまして有り難く勿体ない思いで一杯でございます。時間をかけて大切に拝読させていただきます。

今から考えますと、孫のような年齢からお付き合いいただいて、この御本をいただくまで、一貫してお示し下さいました見事なクラスのまとまりと友情を改めて思い、67期の偉大さに感動いたします。

* 御本はまず仏前に供えまだざっと眺めただけでございますが、これからゆっくと拝読させていただきますことを楽しみにしております

* 早速拝読させていただき子供たちにもと思っております。一郎が生存だったら何を書いたのだらうと思ひながら――――

* ぼつぼつ読ませていただいております。後は主人に供えておきます。

* 皆様のそれぞれのお立場での文章は私など知らない第一戦で戦われたお姿や心情また靖国問題などなど大変勉強になりました。現代の若い人にも読んでほしいと思ひながら拝読いたしました。今は仏壇に供えてあります。

* 早速霊前に供えました。厚く厚くお礼申し上げ、私も皆様の声をお聞きする楽しみと致します。60年以上も前のことをこのように鮮明に御記憶たされ、文章にまとめられるということにただただ畏敬の念につきます。

* 御仏前に供えて報告いたし、ともに喜びました――御苦勞なさいましたことと拝察いたしております。

3 兄弟(姉妹)

* 戦時中の「若桜」はじめ「六十七期海軍史」「千五十年回顧録」とともに長く大切に保存し67期の皆様のご活躍ご奮闘の有様を何度も熟読いたしたいと存じております、早速仏前に供し亡兄にも読んでもらいました。特に今回は―――激戦中の生々しい一瞬と申しますか瞬時の措置がいかにか明暗を分けるかとの教訓に感銘致しました。緊急時の司令、艦長の行動に対する批判、味方からの誤砲撃、通信の受信漏れ、回天を洋上作戦に使用した無理な戦法等々、今まであまり知られていない事柄など貴重な教訓を拝読させて頂きました。

終戦直後の機雷掃海、復員輸送のご苦勞。せんごかいそうのつきから「国防への私見」「靖国神社問題」「東京裁判」など幅広い貴重なご意見を読ませて頂き大変参考になりました。

* 生存者有志の方々による貴重な証言や思い出、卓見を読みやすく編集された有意義な冊子

* 執筆された方々のしっかりとしておられるのに感激致しました。「海軍」から「その他」まで順に読ませていただいているうちに、それぞれの時代のことが走馬燈のように思い出され、感慨深いものがありました。思い出の中には苦しかったこと、楽しかったこと、成功したこと、失敗したこと、残念に思うこと等々沢山あり、秘話に類するようなものもございました。―――

* 七十数年ぶりに戦場より兄の便りが届いたような気がして拝読いたしております。―――見事な御本ほんとうに素晴らしい御生存の方々は今更のように驚くばかりです。―――兄の短い軍人時代に想いをめぐらし一言も聞いたことのない戦争の話の数々、まさしく戦場からの手紙が届いたような気持ちで拝読しております。戦後の気の遠くなるような長い年月を何とも私たちの考えの及ぶことのできないご胸中、ただただ頭の下がる思いで胸一杯になりました。兄の墓前にお供えし一人言でも語り合いたいと思っております。

* ―――特に実践の記録は大変貴重なものとして感動しつつ拝読させていただきました。実戦の経験なき若輩にとっては多くの教訓と啓示を与えて戴き本当に有り難うございました。亡き叔父の写真の前に捧げさせて戴きました。叔父も壮健な皆様の文章に感激していること存じます。